

令和3年度 第1回札幌市食育推進会議 報告書

1 開催形態

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催とした。

(会議資料を送付し、書面表決書にて意見等を聴取する形式での開催。)

※今回は、Web会議に必要なネットワーク環境が整わないことを確認し、書面による開催とした。

2 審議期間

令和3年(2021年)8月6日(金)から8月23日(月)まで

3 出席者

別紙1のとおり

4 会議内容

(1) 会長の選任

承認 21名 不承認 0名

委員全員から承認を得たため、菊地 和美委員を会長に選出する。

(2) 第3次札幌市食育推進計画における令和2年度事業実施報告

同意 21名 不同意 0名

質問

委員名	内容	回答
波田委員	市民農園の開設について、サッポロさとらんどは毎年定員を大幅に上回る人気と認識しておりますが、その他の市民農園はどのようなになっているのでしょうか。もしさとらんどだけに集中している状況であれば、貸農具や栽培相談員の配置が他の市民農園にはない魅力の1つと考えますが、これらについて他の市民農園に取り入れることは検討できないのでしょうか。	サッポロさとらんどは、農業体験を目的に市民向けに作られた市有施設で、設備やサービスも充実しているため、併設の市民農園についても利用希望者が非常に多い状況となっています。一方、一般の市民農園は、主に農家が自らの農地を整備し、貸出しているものです。近年、農家の高齢化などにより耕作放棄地が増えており、市民農園には農地保全の役割も期待されています。利用状況については、農園毎にアクセスやサービス、管

		理状況に差があるため、利用が満員の農園もあれば、利用率維持に課題がある農園もあります。※全体利用率は80%程度 札幌市では、令和元年度に、市民農園の利用率向上等を図る方策について市民アンケートを実施するなど、現在の情勢に合わせた市民農園のあり方について検討を進めております。
--	--	--

意見

委員名	意見等（原文のまま掲載しています。）
五十嵐委員	コロナ禍の中、ご苦勞が多かったと思います。今年度も状況は昨年同様かと思いますが、目標達成のため、ご尽力いただきたいと思います。
市野委員	整理番号 89 伝統的な食文化の啓発について 学校給食等を通じて食文化の伝達を行っているようですが一般市民に向けてレシピ募集や発表する場を当協議会として考えていきたい。
菊地会長	進捗状況を確認させていただきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための中止など、本来であれば達成できることが実績につながらず、厳しい中で取り組んでいらっしゃるものがよく解りました。評価○は◎になるよう今後皆さんと共に取り組むの大切さを感じました。

(3) 第3次札幌市食育推進計画における令和3年度事業実施計画

同意 21 名 不同意 0 名

質問

委員名	内容	回答
菊地会長	第4次作成（案）進め方、今後の予定について対面等による会議開催をお願い申し上げます。	今後の会議につきましては、対面等の開催方法も検討いたします。

意見

委員名	意見等（原文のまま掲載しています。）
市野委員	当協議会としては、コロナ感染症の状況を見ながら、少しずつ対面による事業を取り戻して行きたいと思います。広報さっぽろにレシピを掲載し、広く市民の食生活向上を計りたい。

行方委員	大変詳細に記載され評価も達成度が高く素晴らしい物と思います。
------	--------------------------------

- (4) 次期（第4次）札幌市食育推進計画の作成
 同意 21 名 不同意 0 名

質問

委員名	内容	回答
波田委員	有機食品に関して触れられていますが、有機農業の拡大に向けては、まず消費者への啓発と需要への喚起が重要と考えます。千葉県いすみ市では、2017年から市内の全小中学校の給食に有機米を導入することで市民への啓発と安定した需要の確保に成功していますが、札幌市では学校給食への有機食材の導入を検討できないもののでしょうか。	<p>学校給食は各学校が札幌市学校給食会を通して農産物を購入しています。学校給食への有機食品の導入については、全市で使用できる数量の確保が難しいことから、現段階では予定はありません。</p> <p>しかし、札幌市の学校給食は、クリーン農業技術を導入し堆肥等の有機物を使って健康な土づくりに努め、化学肥料や化学農薬を削減するなど、環境にやさしく安心・安全な「イエス・クリーン」農産物や、「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づく農業生産方式で作物を栽培している生産者(エコファーマー)が栽培した農産物等を期間を決めて学校給食に提供しています。</p> <p>このような取り組みを通して、国の第4次食育推進基本計画にある「環境と調和のとれた持続可能な食料生産とその消費にも配慮した食育の推進」に努めています。</p>

意見

委員名	意見等（原文のまま掲載しています。）
行方委員	「食育事業」は特に小中学生及び高齢者へ直接語りかける方法がベストと思われるが、コロナ禍においては難しいと感じました。

(5) 配布資料 ※事前に配布済み。

(6) その他委員からの意見・質問

質問

委員名	内容	回答
波田委員	札幌市市政アドバイザーの寺島実郎氏は著書「ジェロントロジー宣言」の中で、シニア世代の農業体験の意義を強調しており、横浜市に住むシニア仲間が長野県飯綱町に通って農業に取り組む事例を紹介しています。市内に住むシニア世代の方々が近郊の農村に通うような取り組みを支援することは検討できないのでしょうか。こうした取り組みは、都市に住むシニアの食に対する価値観を大きく変え、生きがい創出にもなり農業現場の人出不足解消にもつながるものと考えます。	農業支援センターでは、市民を対象に、新たな農業の担い手と農業応援団を育成する市民農業講座「さっぽろ農学校」を開講しています。この講座では、幅広い年齢層の方々が作物栽培に関する実地演習や座学講義等を通して農業全体の知識を学んでおります。 また、この講座の修了生（特にシニア世代）は、「札幌市農体験リーダー制度」で市内小中学校の農業に関する授業の中で農業指導を行っています。

意見

委員名	意見等（原文のまま掲載しています。）
五十嵐委員	給食の残食率が、小学校より中学校の方が多く、残念です。“美味しくいただく”気持ちから、“少食”を美化する傾向にある女子中学生に、何とかして小学校時代の給食を楽しむ心を思い出させてあげれば良いと思っています。
岡村委員	進めている活動はどれも大切ですばらしいと思います。しかしこの5～10年情報伝達の種類が変化しています。以前は新聞・TVなどでたくさんの人に知ってもらうことができましたが、今はこれらを使う人がどんどん少なくなっていて、かつインターネットでは自分の興味のあるまたは自分に都合のいい情報だけとってくる時代です。この中でどのように啓蒙していくのか難しさを感じます。

5 札幌市食育推進会議における会長の職務代理者の指名について

職務代理者については、会長の指名により定めるとされていることから、菊地会長が丹羽 俊委員を職務代理者に指名した。

令和3年度 第1回札幌市食育推進会議 出席者名簿

	氏名	ふりがな	所属
1	五十嵐 佳織	いがらし かおり	札幌市PTA協議会 副会長
2	石塚 祐江	いしづか さちえ	札幌市環境アドバイザー
3	市野 美砂子	いちの みさこ	札幌市食生活改善推進員協議会 会長
4	植田 ゆかり	うえだ ゆかり	市民委員
5	大江 廣嗣	おおえ ひろつぐ	札幌市調理師団体連合会 専務理事
6	太田 真理	おおた まり	一般社団法人札幌市私立幼稚園連合会 副会長
7	岡村 暁子	おかむら あきこ	一般社団法人札幌市医師会会員(医療法人社団うめつ小児科 理事長・院長)
8	軽部 幹夫	かるべ みきお	札幌市農業振興協議会 会長
9	菊地 和美	きくち かずみ	藤女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授
10	高橋 清一郎	たかはし せいいちろう	一般社団法人札幌市中央卸売市場協会 代表理事
11	田辺 俊一	たなべ としかず	一般社団法人札幌市食品衛生協会 専務理事兼事務局長
12	玉生 澄絵	たまお すみえ	日本チェーンストア協会北海道支部 事務局長
13	當山 悟	とうやま さとる	一般社団法人札幌歯科医師会 理事
14	中川 幸恵	なかがわ ゆきえ	公益社団法人北海道栄養士会 会長
15	中村 英明	なかむら ひであき	札幌市立高等学校・特別支援学校校長会(市立北翔養護学校校長)
16	行方 幸代	なめかた さちよ	公益社団法人札幌消費者協会 副会長
17	丹羽 俊	にわ たかし	北海道技術・家庭科教育研究会 会長(市立発寒中学校長)
18	波田 大専	はだ だいせん	市民委員
19	平井 正憲	ひらい まさのり	札幌市小学校長会 保健体育部 会計(市立東札幌小学校長)
20	水岡 路代	みずおか みちよ	一般社団法人札幌市私立保育園連盟 副会長
21	山口 伸矢	やまぐち しんや	公益社団法人全国調理師養成施設協会北海道地区協議会 代表幹事

(五十音順・敬称略)